

那須烏山

— No.104 —

2014
May

5

Public Relations Magazine
of Nasukarasuyama City

交通ルール守ってる?	2
18人の新市議決定	8
まちの話題	12
インフォメーション	14
春爛漫「市内の桜が満開」	16

市イメージキャラクター



やまどん ここなす姫 からすまる



桜咲く、笑顔咲く(熊田西公民館)



交通ルール 守ってる？

平成25年度における全国の交通事故死亡者数は、4373人。2時間に1人の割合で尊い命が失われるという厳しい現実にあります(数字はいずれも平成25年警察庁調べによるもの)。

那須烏山市においては、今年に入って3件の交通死亡事故が発生。全国的に交通事故の多い栃木県の中でも、この短期間のうちに死亡事故が多発したのは異例です。これを受けて、警察では、改めて市民に交通安全を啓発するため、「エリア集中パトロール」を行うなど交通事故に対して目を背けてはならない緊急事態に直面しています。

今月号は、交通事故の現状と対策を紹介します。

安全に渡れるように指導をする(春の全国交通安全運動より)。



本市で交通事故多発 異例のペースに警戒体制

警察庁の調べによると、平成25年の全国の交通事故発生件数は、62万8248件、死傷者数7万4033人と近年で最も多かった平成12年から13年連続減少しています。また、栃木県でも、交通事故7437件、死傷者数9490人(うち、死者101人)と全国同様に年々減少傾向にあります。

しかし、栃木県の人口10万人当たりの交通事故死者数をみると、5.07人で、全国平均の3.43人を大きく上回っています。この数値は、全国でも上位に位置し、事故件数が減少にあるからといって安心できるものではないことが分かります。

さらにこの傾向は、今年に入って非常に強くなっています。県内の交通事故発生件数は、1830件、本市は14件(4月15日現在、概数。その中でも、死亡事故件数は、県内で30件、市内に関してはこの時期では過去最高の3件となっています。これは人口10万人当たりに換算すると、栃木県は1.51人で全国ワースト7位、本市では10.87人で栃木県の約9倍と、県内でワースト1位を記録しました。

シートベルト着用が 運命の鍵

県内の交通事故死者数30人中16人は乗車中で、そのうち10人がシートベルトを着用していませんでした。もし、着用していれば8人の命が救われていたと栃木県警察本部の調査で分かっています。

シートベルトの非着用時(チャイルドシートを含む)の致死率は、着用時と比べて、運転者56.2倍、助手席同乗者16.6倍、後部座席同乗者2.7倍。シートベルトやチャイルドシートを着用するとしなくても、こんなにも差が生まれてくるのです。

また、平成20年から導入された後部座席のシートベルト着用義務化ですが、運転者の着用率が、100%に近い数値にもかかわらず、後部座席は一般道路で35.1%、高速道路で68.2%と低いのが現状です。義務化された当初は、積極的なPRの効果もあり、着用率は上昇したものの、それから現在までは、ほぼ横ばいの推移にあります。



シートベルトを着用しましょう。

まだまだ軽視されている後部座席シートベルトの重要性…。着用していない場合、事故時の「車外放出の危険」は、着用時と比べて約26倍に跳ね上がるといわれています。後部座席であっても、シートベルトの着用は必要不可欠なのです。このようにことからシートベルトは、命を守るための「運命の鍵」といっていいのではないのでしょうか。

高齢者の事故の割合 過去最大

もう一つ、近年の交通死亡事故に見られる特徴的な出来事は、高齢者65歳以上が関わる事故の増加です。平成25年の交通事故による高齢者の死者数は全国で2303人。全体に占める割合は52.7%で、65歳以上の統計がある1967年以降で過去最大を記録しました。栃木県におい

高齢者交通安全等アドバイザー活動

この活動は、アドバイザーが高齢者世帯への訪問指導を行うことで、高齢者の交通安全意識や防犯意識を向上させ、交通事故防止及び特殊詐欺等の防犯被害の防止を図るためのものです。

平成26年4月1日付でアドバイザーに就任した4人を紹介します。

■高齢者交通安全等アドバイザー(敬称略)

・堀江勝(小木須) ・木村喜一(熊田) ・石川仁一(野上) ・小堀健順(大金)

※1

でも、53.5%と全国を上回る数値になっています。

過去5年間における市内の交通死亡事故を見てもこの傾向はさらに顕著で、11人の交通事故死亡者のうち6人(うち、歩行中5人、運転中1人)と高齢者の事故の割合が高いことが分かります。

この原因には、注意力や集中力、瞬間的な判断力など加齢に伴う身体的能力の低下が大きく影響しているといわれています。また、慣れている道だから大丈夫と

いった思い込みが重大な事故を起こしてしまうのです。

栃木県警察本部では、このような高齢者の事故を防止するため、今年度から県内各署での「高齢者交通安全等アドバイザー活動(3ページ※1を参照)」や「子どもや高齢者に優しい3S(スリーエス)運動(※2を参照)」などを推進、展開しています。

交通事故の撲滅に向けて 市内で活発に呼びかけ

今年に入ってから市内で交通死亡事故が相次いで発生したことで、2月26日(水)、市民の安全と安心を確保するため、栃木県警察本部と那須烏山警察署が合同で「エリア集中パトロール」を行いました。

南那須図書館駐車場で行われた出発式では、県警本部の竹村政之前交通部総括参事官をはじめ大谷範雄市長、市議会、那須烏山交通安全協会などの関係者のほか、市内の幼稚園児など約300人が出席。出発式では、大貫良之前那須烏山警察署長が、「危機意識をもってパトロールしてほしい」とあいさつした後、多くの地域住民に見送られながら白バイ6台、パトカー18台が出動し、交通安全を呼びかけました。

また、年3回実施される交通安全運動では、市や警察、関係団体が協力して積極的に運動を展開しています。

4月6日(日)から15日(火)まで行われた「春の全国交通安全運動」では、「子どもと高齢者の交通事故防止」などの推進を重

※2

子どもや高齢者に優しい 3S運動

- ・SEE…子どもや高齢者をいち早く発見する、動きをよく見る
- ・SLOW…子どもや高齢者を見たら減速する
- ・STOP…危険を感じたらすぐに停止する

点に、市内でも様々な事業を展開し、交通事故防止の徹底を図りました。

初日の6日(日)には、市内のスーパーマーケットで買い物客に交通安全の呼びかけを行ったほか、白バイ2台を展示しました。白バイを間近で見られることは珍しく、親子連れに大人気でした。

7日(月)には、田野倉の山中入口交差点で特別街頭指導を実施。大谷範雄市長、蜷川政夫那須烏山警察署長をはじめ、交通安全協会や安全運転管理者協議会の会員など約50人が、信号待ちのドライバーに交通事故防止のチラシを配り、安全運転を呼びかけました。

さらに、運動期間中には、学校関係者や地域の人々も加わり、市内の主要交差点で早朝街頭指導を行うなど、広く市民へ交通ルールの遵守を訴えました。

そのほか、子どもたちの安全を守るため、市内の幼稚園や保育園、小・中学校で



①

①多くのパトカーや白バイが出動し、交通安全を呼びかけた「エリア集中パトロール」。②市内のスーパーマーケット出入口で事故防止のチラシを配布。③信号待ちのドライバーにチラシを配る大谷範雄市長と蜷川政夫那須烏山警察署長。



③



②

新小学1年生に

交通安全人形を寄贈

交通安全母の会(柳田京子会長)

に贈りました。

では、4月4日(金)「交通安全人形」約250体を市教育委員会

同会では、25年以上前から小学校1年生に向けて、安全に通

交通ルール守ってる？

—Interview—

ここまで、本市の交通事故の現状や傾向、取り組みなどを紹介してきました。

そこで、警察や交通指導員、学校関係者、運転を仕事とする4人の視点から、それぞれ交通安全に関するお話をうかがいました。



那須烏山警察
蛭川政夫署長

今年に入って多発する交通死亡事故。もうこんな事態は二度と起きてはいけません。そのためには、どうしたらいいのでしょうか？署では、スピードの取り締まりや交通安全の呼びかけなどを積極的に展開しています。しかし、いくら私たちが頑張ってもそれだけでは事故はなかなか減りません。それは、みなさんがその呼びかけに応じて一人ひとりが交通ルールを守り、事故をなくすことが大切だ

と思うからです。運転速度を抑えること、シートベルトを着用すること、そして、特に高齢者や子どもの動きに十分に注意して運転してほしいです。とにかく、一人ひとりの意識でこれから変わって来ると思っています。また、子どもたちには、自分の身は自分で守るためにも学校だけでなく、ぜひ家庭でも家族と一緒に交通安全について学ぶ機会を増やしてほしいです。

これからを変えるには
一人ひとりの意識が大切

は、年間を通して交通安全教室が開かれています。

◇
交通事故は、いつ起こるか誰も予知できません。それを防止するには、一人ひとりが「交通ルールを守ること」たったそれだけなのです。子どもからお年寄りまで学ぶ機会は十分にありません。改めて自分の中の交通ルールを考え直してみたいかがでしょうか。



境小全校生徒79人が参加した交通安全教室。



交通安全母の会の皆さん。

学できるようにと会員全員で心を込めて人形を手作りしています。那須烏山市の和紙を使用した人形は可愛らしく小学生たちに大人気です。柳田会長は、「地域の子どもたちをこれからも見守っていきたい」と笑顔で話していました。

市教育委員会では、各小学校を通じて、この人形を配布し、交通安全の意識向上を図ります。

安心して通学できるように 子どもたちを地域で見守ろう



交通指導員
檜山勉さん(田野倉)

『おはようございます!』『毎朝ご苦労様です!』と、登校する児童や生徒が元気に声をかけてくれるのが嬉しいし、それがやりがいですね。気付いたら交通指導員になって11年目。始めた頃に小学1年生だった子は、もう高校生なんです…。みんな小さな頃から見ているから親の気持ちで毎朝見送っています。

田野倉交差点付近は、朝夕は車の通りが多く、道が狭いので危

いです。しかし、見ている限りでは、小中学生はみんなルールを守って登下校しています。おそらく、危険という意識があるから緊張感をもって通学することが出来るのでしょうね。逆になんともない道のほうが気を付けないから危ないのかもしれない…。

市内に限らず、危険な場所はた

くさんあります。そういった場所に積極的に地域の大人が出向き見守ることで、子どもたちが常に緊張感をもつことができ、事故が減るんじゃないかと思えます。私は、これからも続けられる限り子どもたちを見守ってまいります。

他人事に思わないで! 命の大切さ感じて欲しい

4月から烏山中学校で交通安全指導を担当しています。生徒の学校時には、正門で反射タスキやヘルメットの着用、交通安全を呼びかけています。時には、交通指導員や地域の人々から通学路の危険箇所を聞き、生徒に指導することもあります。

しかし、生徒たちは、「自分は大丈夫」と事故に巻き込まれることを他人事に感じている部分がある



烏山中学校 交通安全指導担当
若色慶之先生

最初は、父親の家業を手伝おうと始めたタクシードライバーも、今年で24年目。日々、どんなお客様も小さい子どもを乗せていると思つて運転することゝをモットーに安全運転を心がけています。というのも、仕事にも慣れてきて些細なミスが目立ってきたある日、父親に「急ブレーキ、急発進、急ハンドル：子どもが乗っていたらやらないでしょ?大人でも一緒。常にお客様に安心して乗ってもらえるように運転しなさい」と言われたことがそう思えるきっかけでした。それ以来、その言葉を毎日思い返すようにしています。

運転のプロとして 譲り合う心のゆとりを

タクシードライバー
中田美江さん(鴻野山)



入園・入学おめでとうございます 新たな一歩踏み出す

桜の花も見ごろを迎えた春本番の4月、市内の小・中学校では、一斉に入学式が行われ、夢と希望を胸にした新入生が校門をくぐりました。8日(木)には、中学校3校で244人(下江川中36人、荒川中58人、鳥山中150人)、9日(金)には、小学校5校で187人(江川小32人、荒川小49人、境小9人、鳥山小69人、七合小28人)が入学し、新たな生活をスタートしました。

幼稚園・保育園でも入園式が行われ、入園児は保護者に手を引かれながら初登園しました。

また、鳥山高校でも7日間、185人の新入生が入学を迎えました。



①元気な返事をする入園生(つくし幼稚園) ②入園おめでとう(すくすく保育園) ③新入生代表あいさつ(下江川中) ④教室の雰囲気はまだ慣れない様子(七合小) ⑤親子で記念撮影(江川小)



ようでもとても不安…。特に、休日の部活動の登下校は、交通量が多いうえ、平日のように集団で帰ることができないため、指導担当として最も気にかけています。

車を運転する人も交通ルールは守らなければいけません。けれど、

自転車や徒歩通学の生徒たちもルールを守ることはもちろん、自分を守る対策が必要です。交通事故で絶対に命を落として欲しくない…。生徒たちには、「命の大切さ」を感じながら普段生活してほしいです。

また、ストレスをためないよう、適度にリフレッシュすること、十分な睡眠をとることで気持ちよく運転できるようにしています。そうしないと、余裕のある運転が出来ませんからね…。ルールを守ることはもちろんですが、譲り合

うことが出来るゆとりの心が大切だと思います。

これからもプロとして、一般のドライバーのお手本になる運転をしていきたいです。

交通ルール 守ってる？

—END—

那須烏山市議会議員選挙

18人の新市議決定

投票率は67・23%。

任期満了に伴う那須烏山市議会議員選挙が、4月20日(日)、市内28箇所の投票所で投票が行われ、即日開票の結果、現職12人、新人5人、元職1人が当選しました。新市議会議員18人は、5月1日に就任し、この日から新しい「まちづくり」の職務に携わることとなります。

平成22年から定数が18人となった市議会。今回は19人(うち現職12人、新人5人、元職2人)が立候補し、激しい選挙戦が繰り広げられました。

告示(13日)の翌日から行われた期日前投票では、有権者の2割を超える4857人が投票を済ませ、市民の高い関心と期日前投票制度が世間に浸透してきたことがうかがえます。

なお、当日有権者数2万4001人に対して投票者数は1万6136人。有効投票数は、1万5924票でした。投票率は、67・23%にとどまり、平成22年に行われた前回の71・92%を4・69ポイント下回る結果でした。

それではここで、これから市民の代表として活躍が期待される18人の新市議会議員を紹介します(敬称は略させていただきます)。



沼田邦彦

旭一丁目・元会社員・42歳



矢板清枝

下川井・無職・54歳



小堀道和

小河原・無職・64歳



久保居光一郎

大金・会社役員・65歳



渡辺健壽

野上・農業・67歳



田島信二

谷浅見・自営業・69歳



中山五男

東原・農業・77歳



川俣純子

旭二丁目・歯科医師・53歳



平塚英教

小木須・政党役員・59歳



相馬正典

金井一丁目・会社役員・58歳



開票作業が進められる会場(烏山体育館)。

ハイキングの支度をする参加者(烏山駅前)。



JR東日本「駅からハイキング」 春の那須烏山路を満喫

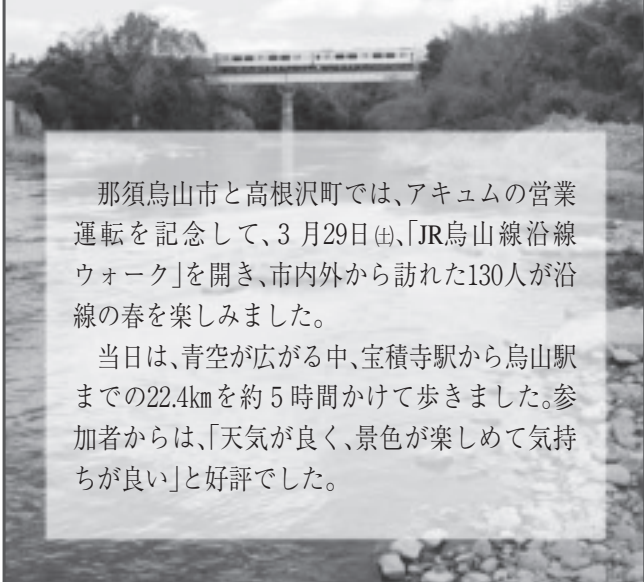
JR東日本では、4月12日(土)、郷愁
ただよ癒しの那須烏山ウォー
キングと題した「駅からハイキング」
を開催し、県内外から171人の
参加者が春の那須烏山路を満喫し
ました。

当日は、晴天にも恵まれ絶好の
ハイキング日和。参加者は、烏山駅
から滝駅までの行程約6kmを市内
の観光名所「龍門の滝」や「和紙会
館」などを訪ねながらハイキング
を楽しみました。

烏山駅では、以前と様変わりし

た新しい烏山駅舎に驚く参加者や
用意された撮影パネルをバックに
田中伸二宝積寺駅長と一緒に記念
撮影する姿が見られました。
昨年引き続き、2回目の参加
という東京都の沢みよ子さんは、
「那須烏山市は自然が豊かで素晴
らしい。前回とは違う景色を見る
のが楽しみ」と笑顔で話していま
した。

JR烏山線沿線ウォーク 春の訪れを楽しむ



那須烏山市と高根沢町では、アキュムの営業
運転を記念して、3月29日(土)、「JR烏山線沿線
ウォーク」を開き、市内外から訪れた130人が沿
線の春を楽しみました。

当日は、青空が広がる中、宝積寺駅から烏山駅
までの22.4kmを約5時間かけて歩きました。参
加者からは、「天気良く、景色が楽しくて気持ち
が良い」と好評でした。



樋山隆四郎
向田・自営業・68歳



高田悦男
田野倉・農林業・65歳



高德正治
神長・会社役員・58歳



滝口貴史
志鳥・神職・40歳



望月千登勢
月次・無職・51歳



小森幸雄
興野・農業・67歳



渋井由放
南一丁目・会社役員・58歳



佐藤昇市
曲畑・農業・63歳

新市議の 顔ぶれ

市消防団第6分団第4部へ

救助資機材搭載型車両を無償貸与



搭載された機材を確認する消防団員。

3月30日(日)、総務省消防庁から「救助資機材搭載型車両」が市消防団第6分団第4部(平野淳一部長)へ無償で貸与されました。

これは、国が新たに定めた、洪水や土砂災害時などにおける消防団活動・安全管理マニュアルに基づいた教育訓練を試行的に行い、消防団の大規模災害時の対応能力の向上を図ることを目的としています。

市消防団が活動する月次地区で

は、東日本大震災後、市内でいち早く自主防災組織を立ち上げるなど、地域の防災訓練が活発であり、それらが評価され、貸与の対象となりました。

県内では、救助資機材搭載型車両と消防ポンプ付軽自動車両2台ずつのほかに、緊急時に備えたAEDや大型テントなど資機材が貸与されました。

市では、今後の消防活動の向上と発展を期待しています。

環境保全型農業コンクール

帰農志塾が大賞を受賞

帰農志塾では、第19回「環境保全型農業コンクール(全国環境保全型農業推進会議主催)」で最高賞の大賞(農林水産大臣賞)を受賞しました。

これは、有機農業をはじめとする環境保全型農業に取り組む団体や個人を表彰するもので、県内で大賞を受賞するのは3例目。同塾は、設立から38年間にわたり新規

就農者を育成し、会員との信頼関係作りや80人以上の卒業生を有機農業の担い手として全国に送り出したことなどが高く評価されました。

現在は、6人の研修生が夢に向

かって勉強中。8ヘクタールの農場では約80種の野菜が作られ、店での販売や学校給食で使用されているほか、同塾の生徒たちが県内外約250世帯の消費者に野菜をセットにしたものを直接届けています。

同塾を立ち上げた戸松正さんは、「これからも、今以上にみんなが美味いと思える野菜を作れるように技術開発をしていきたい」と笑顔で話していました。

帰農志塾で指導する戸松夫婦。



それぞれの想いを胸に…

2地区で戦没者追悼式

日清・日露の戦争から第二次世界大戦までの戦火で、尊い命を落とされた戦没者を追悼するとともに、平和を祈念するための戦没者追悼式が、南那須地区と烏山地区でそれぞれ行われました。

南那須地区では、4月13日(日)、南那須地区戦没者追悼式執行委員会(鈴木定男委員長)が、南那須公民館で式典を開催。遺族や来賓など約150人が参加し、598柱の英霊を追悼しました。

また、烏山地区では15日(火)、烏山彰徳会(小森和昌会長)が、



烏山地区。



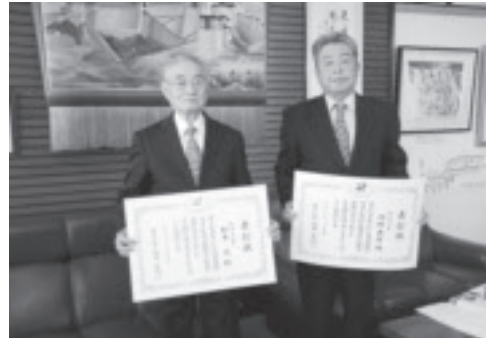
南那須地区。

大谷範雄市長や佐藤雄次郎前市議会議長などが追悼の言葉を述べました。最後には、参加者一人ひとりが白菊を献花し、英霊を慰めました。

大戦から69年が経ち、戦争の悲惨さを体験した人々は、

自治会活動が高く評価

市内2自治会が功労者知事表彰受ける



受賞した阿相自治会長(右)と松本自治会長(左)。

下境川辺自治会長の松本武さんとあたご自治会長の阿相光郎さんが栃木県自治会活動功労者知事表彰を受けました。

これは、栃木県自治会連合会が主催するもので、15年以上、自治会活動に尽力し、その功績が特に顕著である者に贈られる表彰です。

通算20年在職する松本自治会長は、6つに分かれる自治会をまとめ、地域の祭りなどのイベントを通してのコミュニケーションづくりに尽力するなど積極的に活動しています。松本自治会長は、「今以上に地

域間の縦と横のつながりを増やし、住みよい地域づくりをしていきたい」と話していました。

阿相自治会長は、18年在職し、街を綺麗に保つために自治会内へ呼びかけ、道路清掃活動を行ったり、昨年からは高齢者の集まれる場「いきいきサロン」を開いたり積極的に活動を展開しています。阿相自治会長は、「これから深刻化する高齢化にも対応できる自治会づくりをしていきたい」と話していました。

市指定天然記念物 太平寺のカヤ(滝)

市指定天然記念物



樹高約25m、推定樹齢約200年、栃木県名木百選にも選ばれている老樹です。境内には様々な樹木が植えられていますが、他を圧倒する大きさです。

本堂の北側には、烏山藩主の一族や家老などの上級武士が埋葬された特別な墓域が設けられており、その境界木として植えられたと考えられています。

木の周囲には、「蛇姫様」のモデルとなったお姫様の墓や、那須氏の内紛に由来する「首洗い池」などが存在し、独特な雰囲気が漂っています。

烏山体育館で式典を行い、約250人が参加しました。途中には、コール烏山による靖国神社の歌が奉唱され、963柱の英霊を追悼しました。それぞれの追悼式では、黙とうや主催者の式辞に続いて、

年々少なくなっています。これから私たちは、歴史に対して謙虚に向き合い、学ぶべき教訓を深く胸に刻み、明るい未来を目指して歩んでゆかなければなりません。

山あげ保存会芸能部会

浅草のこども歌舞伎に出演

山あげ保存会芸能部会では、3月22日(日)、東京都の浅草寺の境内で開かれた「第6回浅草奥山こども歌舞伎まつり」に同会の小中学生16人が、出演しました。

この催しは、歌舞伎文化をテーマにしたまちづくりを進める東京都台東区の「奥山おまいりまち商店街振興組合」が開いているもの。山あげ保存会では、今年で4回目の出演となりました。

当日は、舞台衣装を身にまとい、同商店街を練り歩いて上演告知等を口上。この日のために練習した「子宝三番叟」と「蛇姫様」を浅草の観衆の前で上演しました。観衆からは、完成度の高い演技に盛大な拍手が送られました。

出演した子どもたちは、「緊張したけど大勢の人の前で演じて自信がついた」、「練習より上手く演じることができた」などといった感動の声が上がりました。



日頃の練習の成果を披露。



満開の桜道を走り抜けるスタート。



地図でコースを確認(那珂川落石付近)。

エクストリームシリーズ那珂川大会 10年目は大木須の里山で開催

10年目を迎えた大自然を駆け巡るアドベンチャーレース「エクストリームシリーズ2014那珂川大会」(同シリーズ実行委員会主催)が4月12日(日)、オオムラサキ公園を

発着点に行われ、33チーム94名の選手が全国から参加しました。選手は、午後2時の大谷範雄市長の合図で一斉にスタート。レースは那珂川流域で行われ、地図を

頼りにトレッキングやマウンテンバイク、カヤックなど3人1組でチェックポイントを通過しながらゴールを目指します。コースの全長は、約40km。山あり谷ありの難コースに選手たちは果敢に挑み、制限時間内に12組が完走を果たしました。完走者からは、「地図から情報を読み取るのに苦戦したが、チームで乗り越えることができた。また参加してみたい」との感想もあり、その達成感に満面の笑みがこぼれていました。また、大会終了後には「里山の集い」と題し、大木須地区の地域住民が選手をおもてなし。温かい手作りの料理が振る舞われ選手との交流を深めました。



菜の花に囲まれて(神長川西自治会お花見会より)。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材にうかがいます。

総合政策課広報統計担当
☎0287-83-1112



目を引く端午の節句かざり。

烏山商店会連合会

端午の節句かざり展

地域の活性化を図ろうと、烏山商店会連合会 阿相光郎会長では、4月5日(日)から5月5日(月)まで、「城下町からす山 端午の節句かざり展」を開催しました。3回目を迎えた今年も、烏山市街地の会員店舗や公共施設など約30ヶ所に勇壮な「よろいかぶと」などが飾り付けられました。

また、多くの会場に足を運んでもらおうと、新たにスタンプラリーも開催し、15ヶ所でスタンプを集めた参加者にはプレゼントが贈られました。端午の節句めぐりは県内でも珍しく、市外からの来訪者が増えてきています。



満100歳
おめでとうございます
濃泉昌さん

笑顔が素敵な濃泉さん。

濃泉昌さん(南1丁目)が、4月6日(日)、満100歳を迎え、大谷範雄市長から花束や祝詞等が手渡されました。

現在、市内の施設で過ごす濃泉さんは、幼い頃から身体が丈夫なことが自慢でいつも元気いっぱい。長寿の秘訣は、「できるだけ身体を大切にすること」と笑顔で話していました。

また、お喋りも好きで、東京都で生まれたことや新潟県にある教会で司教の秘書を務めていたことなど多くのエピソードを話していました。

熊田西公民館

桜の木の下で熊田太々神楽を披露

熊田西公民館(飯田三男館長)は、4月13日(日)、第3回「西熊田自治会花見会」を開き、地域住民約100人が参加しました。

同公民館には、樹齢100年を越える桜の木があり、満開時の花見会の開催は初めて。当日は、天気も良く、青空が広がる中、桜の木の下に特設されたステージ上で熊田太々神楽が披露されたほか、がらまきなども行われ、

にぎわいをみせました。

また、会場には、地域の自治会や育成会による売店なども並び、訪れた人は手作りの料理に舌鼓を打っていました。

飯田館長は、「自治会や熊田太々神楽保存会、育成会などの協力があつての花見会。これからも交流を深め、続けていきたい」と話していました。



熊田太々神楽を楽しむ地域住民。

アユ釣り解禁まであと少し

漁協がアユ5.3tを放流



6月1日は、アユ釣りの解禁日。那珂川南部漁業協同組合(荒井一雄組合長)では、4月22日(水)、那珂川流域の30箇所以上にアユの稚魚25万匹(2t)を放流しました。

同漁協境支部では、烏山大橋上流に稚魚を丁寧に放流。水温に慣れたアユは、元気に泳いでゆきました。荒井組合長は、「今年は、天然のアユの遡上も多く確認している。解禁日には、多くの人でにぎわうのでは」と話していました。

同漁協では、6月までに4.1tのアユを放流。また、那珂川中央漁協(松本國夫組合長)も1.2tを放流します。

南那須図書館付近を散策。



街に賑わいを興す会 着物で春の那須烏山市を散策

街に賑わいを興す会(小川三雄会長)では、4月12日(土)、「着物でお花見しよう」を開き、着物に身を包んだ会員や地域住民など33人が市内の桜の名所を優雅に散策しました。

晴天に恵まれた当日、烏山公民館に集合した一行は、県民の森や清水川せせらぎ公園などを自由散策。各箇所満開を迎えた桜に参加者から感嘆の声があ

がりました。参加した小堀弘子さんは「開催すること、市外からの参加者も増えている。散策するのも楽しみですが、交流を深めていくのも楽しみの一つです。」と話していました。

なお、同会では、様々な事業を企画し、城下町「那須烏山」が、和服の似合う街というイメージづくりに取り組んでおり、秋に向けた催しを現在検討しています。

神長川西自治会 菜の花畑でお花見会

神長川西自治会(野口節自治会長)では、4月13日(日)、江川橋付近で第7回「自治会親睦花見会」を開き、地域住民約100人が交流を深めました。

当日は、菜の花畑を会場に、「杵つき餅」や「やきそば」が無料で配布され、手料理を囲みながら子どもからお年寄りまで会話を弾ませていました。途中には、子どもたちが餅つき体験をしたり宝探しゲームをしたりと楽しそうに笑い声が菜の花畑に広がりました。また、今年から地元育成会も参加し、振舞われた「豚汁」は好評を博しました。



菜の花畑で餅つき。

野口自治会長は、「地域コミュニティが希薄化する中で、自治会のイベントを通して地域住民の親睦を深めて欲しい」と話していました。

おめでた

赤ちゃん名 (保護者)住所
 霜田 奏(純・由紀)高瀬
 船山 陽(雄太・彩)熊田
 高野 王(輝美・麻衣)志鳥
 皆川 悠(裕利・舞)小木須
 栗田 暁(馬(大安・仁美)宮原
 小松 七(星(直人・真由美)八ヶ代
 小川 莉(奈(裕也・真奈美)宇井
 岡田 芽(生(洋輔・浩子)鴻野山
 塩野 紗(聡・絵里)三箇
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●第13回神栖市空手道選手権大会(3月23日(日)、茨城県神栖市土合体育館)
 【中学1年男子】▽優勝…片岡利光
 【小学5・6年団体戦】▽3位…亀田理央、矢代力音、石川朋樹
 【小学3・4年女子】▽準優勝…片岡愛裕
 【小学6年男子】▽準優勝…矢代力音
 ■社会福祉事業寄付金
 ・本多實恵子様(東京都豊島区)から20万円が寄付されました。

ご寄付ありがとうございます

住民基本台帳の閲覧状況

市では、住民基本台帳法第11条に基づいて、住民基本台帳の一部の写しの閲覧を行っています。住民基本台帳法の規定に基づき、平成25年度の閲覧状況を公表します。

住民基本台帳法第11条第1項に基づく請求(国又は地方公共団体の機関の請求による閲覧)

番号	機関の名称	請求事由の概要	閲覧日	閲覧した住民の範囲
1	防衛省自衛隊 栃木地方協力本部	自衛官の募集に伴う広報(根拠法令:自衛隊法第97条、同施行令第120条)	平成26年 2月14日	那須烏山市全域(平成8年4月2日～平成9年4月1日までに生まれた者及び平成11年4月2日～平成12年4月1日までに生まれた男子:379人)

住民基本台帳法第11条の2第1項に基づく請求(個人又は法人の申出による閲覧)

番号	申出者の氏名	利用目的の概要	閲覧日	閲覧した住民の範囲
1	株式会社 エスピー研	「栃木県政世論調査」に係る対象者抽出	平成25年 5月14日	満20歳以上の男女(住所が横枝・志鳥:32人)
2	一般社団法人 新情報センター	「第10回 飲酒・喫煙・くすりの使用についてのアンケート」に係る対象者抽出	平成25年 9月20日	15歳～64歳の男女(住所が南1丁目:15人)
3	株式会社 日本リサーチセンター	「高齢期に向けた「備え」に関する意識調査」に係る対象者抽出	平成25年 11月7日	満35歳～64歳の男女(住所が滝田:28人)
4	一般社団法人 中央調査社	「平成25年度食育に関する意識調査」に係る対象者抽出	平成25年 11月18日	満20歳以上の日本国籍を有する男女(住所が月次:15人)
5	一般社団法人 新情報センター	「土地問題に関する国民の意識調査」に係る対象者抽出	平成25年 12月2日	満20歳以上の日本国籍を有する者(住所が大金:15人)
6	株式会社 ビダオリサーチ	2014年「全国たばこ喫煙者率調査」に係る対象者抽出	平成25年 12月18日	満20歳以上の男女(住所が田野倉:20人)
7	株式会社 日本リサーチセンター	「通信利用動向調査」に係る対象者抽出	平成25年 12月25日	満20歳以上の世帯主である男女(住所が中央・旭・落合・向田・興野・大金・月次:192人)
8	一般社団法人 新情報センター	「次期プラン策定に関する県民意向調査」及び「栃木県に関するイメージ調査」に係る対象者抽出	平成26年 1月14日	満20歳以上の男女(住所が野上・大桶・滝田・福岡・南大和久:74人)

広告掲載募集中

■掲載基準

位置…各ページの最下段(表紙除く)
 サイズ…縦4・7cm×横8・4cm
 料金…単色 1回5千円
 カラー1回1万円(裏表紙)

申込…掲載希望の前月10日まで
 詳しくは、総合政策課広報統計担当(☎0287-83-1112)までお問い合わせください。

なお、「広報お知らせ版」への広告掲載や、市公式ホームページへのバナー広告掲載も同時に募集しています。

まかせて安心！！

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険:自動車、自賠責、火災(地震)、個人年金

◇生命保険:新医療A、先進医療、収入保障、終身介護

■問合 ☎321-0526 那須烏山市田野倉383

TEL0287-88-9870 FAX0287-88-0234

放射能測定 受付窓口が変更

「空間放射線量測定器の貸出」及び「食品の放射性物質簡易測定」の受付窓口が総務課から下記に変更になりました。

■受付窓口

- ・空間放射線量測定器の貸出
…環境課(烏山庁舎)
- ・食品の放射性物質簡易測定
…農政課(烏山庁舎)

■問合せ

- ・環境課環境保全担当
☎0287-83-1120
- ・農政課農政担当
☎0287-83-1231

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

- 『家族で楽しむおもしろ科学実験』 尾嶋 好美
『カラー図解でわかる細胞のしくみ』 中西 貴之
『DNA誕生の謎に迫る!』武村 政春
『身近な昆虫のふしぎ』 海野 和男
『脳にいいこと、悪いこと』 生田 哲
『あと5Kgがやせられないヒトのダイエットの疑問50』 岡田 正彦
『書かずにはいられない』北村 薫
『無縁旅人』 香納 諒一
『ありふれた愛じゃない』 村山 由佳
『寂しい丘で狩りをする』 辻原 登
『フェイバリット・ワン』 林 真理子
『師父の遺言』 松井 今朝子
『豆の上で眠る』 湊 かなえ
『さいごの毛布』 近藤 史恵

- 『バベル』 福田 和代
『ウィニー・ザ・プー』 A.A.ミルン
●児童図書●
『こどもたちへ』 まど みちお
『ハヤト、ずっといっしょだよ』 井上 こみち
『あひるの手紙』 朽木 洋
『ノンキーとホンキーのカレーやさん』 村上 しいこ
『月見草の花嫁』 飯野 和好
『ならんでるならんでる』 竹下 文子
『ターシャの農場の12か月』 ターシャ チューダー
『おやすみおやすみ』 シャーロット ゴロトワ
『プラスマンとカズカズせいじん』 みやにし たつや
『ギンジとユキの1340日』渡辺 有一

市の人口

2014.4.1現在
()対前月比

人口 27,575(-79)

男 13,579 女 13,996

出生 13 死亡 41

転入 153 転出 204

世帯数 9,583

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

編集後記

○「締切りギリギリだな～」と思っていた今月号の広報紙。なぜか締切4日前に印刷業者から電話が鳴った…。(いつも2回に分けて原稿を提出しているのですが)「あれ、今日1回目ですよね?何時に出来ます?」と追い討ちをかける担当者の声。その時、完成していたページはなんと0ページ!!
○思わず「うそですよ!」と聞き返してしまいました。それからの挽回は自分でも驚くほど…。いつもそれくらいの力でやればいいのですが、とにかく間に合って一安心!
○そんなことはさておき、最近、何かと集まることの多い小中学校時代の同級生。「あの時はああったこうだった」と当時は恥かしかった話も今では笑い話になるんですね。過ぎた時間は懐かしく、やはり慣れ親しんだ友達はいいなあと思いました。
○でも、小学校の卒業アルバムを見て「ねえ、整形したでしょ?」と言われた一言は一生忘れません。

梅の花卒春ますます健やかに 吉田喜枝子(興野)	残雪や巨大水車の深眠り 高野 良子(下川井)	寒風やポストへ往復三千歩 杉原キミヨ(志鳥)	悠々とおよぐ太郎の五月鯉 伊藤 博志(田野倉)	俳句 齋藤 穂選	焼酎は昔代後今主役 船山 栄一(熊田)	米寿にもなり健在を羨まれ 鈴木 幸子(志鳥)	老人会若さを競い薄化粧 塩谷ヨツイ(田野倉)	川柳 篠崎 酔月選	過疎の地のアキムカリーに人が寄り 伊藤 修子(興野)
----------------------------	---------------------------	---------------------------	----------------------------	-------------	------------------------	---------------------------	---------------------------	--------------	-------------------------------

作品募集

毎月10日までに、総合政策課広報統計担当
〒321-1069 那須烏山市中央一丁目1番1号あて、郵送で作品をご応募ください。

○部屋にひとり聞きいる 吉澤 紅月(南)	○ふるりに立ち寄るたびに畑に居て励 ましくれたる伯母は逝きたり 高野 久子(大桶)	○顔寒白き部屋に穏しき 角田かほる(南大和久)	○長き日々看取りし夫を送りたる友の 顔寒白き部屋に穏しき 角田かほる(南大和久)	○車の音も聞こえて 矢口 玄鳥(大金)	○風薫る五月来りぬ青空に鯉のぼり矢 短歌 福澤 悦子選
-------------------------	---	----------------------------	--	------------------------	-----------------------------------





清水川せせらぎ公園。



西山辰街道の大桜。



天性寺。



南那須図書館。

春爛漫 市内の桜が満開

4月に入り寒さも和らぎ、市内は春の訪れを告げる桜が見ごろを迎えました。広報「那須烏山」では、市内の桜スポットを写真でいくつご紹介いたします。

親子で仲良く こいのぼりづくり

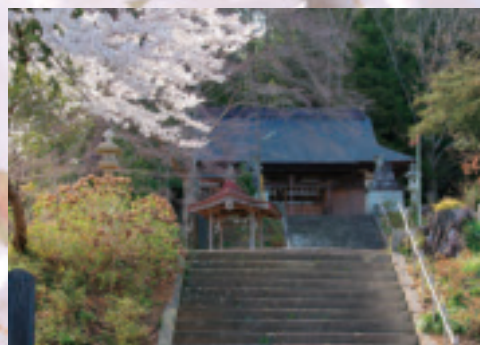
こども館のびよびよ広場では、5月の端午の節句を前に、4月16日(水)、「こいのぼりづくり」を開き、未就園児の親子12人が参加しました。

会場では、こいのぼりの曲が流れる中、広場スタッフの指導のもと親子でこいのぼりづくりに挑戦。クレヨンやシールなどを自由に使った色とりどりの作品が完成すると、その出来栄えに子どもたちは大喜びし、会場には子どもたちの笑い声が響きわたりました。

最後には全員で記念写真を撮り、少し早い端午の節句を味わいました。



こいのぼりづくりに真剣な子どもたち。



八雲神社。



龍門の滝。

有料広告

地域密着型情報紙「アドペッパー」

5・6月号(お試し期間) 1枠5,000円(税抜)

発行部数 30,000部

那須烏山市・那須川町・茨城県の一部 新聞折込 16,200部、ラック設置 10,000部、法人お届け 3,800部

株式会社アド・ワークス

那須烏山市野上1162(寺澤太鼓店前)

0120-03-8633



HPを
ケータイ
で見える



アドワークス 烏山 検索